



Daiwa House®  
Group

共に創る。共に生きる。

大和ハウスグループ

CSRレポート 2015  
〈グループ企業版〉



未来をつなごう  
We Build ECO



大和エネルギー  
DREAM Solar  
なつみ台Ⅱ



伸和エージェンシー  
英会話教室

# 共に創る。共に生きる。

大和ハウスグループは、幅広い事業を通じて  
人が心豊かに生きる社会の実現を目指すとともに、  
「共創共生」をテーマにCSR活動を推進しています。

大和リース  
DREAM Solar  
フロート1号  
@神於山



大和ハウスリフォーム  
リフォームサロン



# Contents <目次>

大和ハウスグループのCSRビジョン .....3

トップメッセージ .....5

エネサーブ株式会社 ..... 7	大和物流株式会社 ..... 31
株式会社大阪マルビル ..... 9	大和ランテック株式会社 ..... 33
株式会社伸和エージェンシー ..... 11	大和リース株式会社 ..... 35
スポーツクラブNAS 株式会社 ..... 13	大和リゾート株式会社 ..... 37
大和エネルギー株式会社 ..... 15	大和リビング株式会社 ..... 39
大和コアファクトリー株式会社 ..... 17	ダイワロイヤル株式会社 ..... 41
大和情報サービス株式会社 ..... 19	ダイワロイヤルゴルフ株式会社 ..... 43
大和ハウスインシュアランス株式会社 ..... 21	株式会社デザインアーク ..... 45
大和ハウスフィナンシャル株式会社 ..... 23	西脇ロイヤルホテル株式会社 ..... 47
大和ハウスライフサポート株式会社 ..... 25	日本住宅流通株式会社 ..... 49
大和ライフネクスト株式会社 ..... 27	株式会社メディアテック ..... 51
大和ハウスリフォーム株式会社 ..... 29	ロイヤルホームセンター株式会社 ..... 53

大和ハウスグループの概要 .....55

業績ハイライト／連結財務諸表 .....56



**スポーツクラブNAS**  
キッズユニバーシティ



**大和リゾート**  
BIRD FRIENDLY®  
COFFEE



**大和情報サービス**  
大江戸清掃隊

## 編集方針

大和ハウスグループCSRレポート(グループ企業24社)は、一般の方々にも読みやすいCSRレポートを目指し、2014年度のCSR活動を当社グループ社員憲章6項目に応じたステークホルダー(社会・環境・お客さま・株主・取引先・従業員)との共創共生、およびCSR経営の基盤にもとづき、活動トピックスをピックアップし、各社ごとに編集しています。また、独自のマネジメントシステム「CSR自己評価指標」を設定したグループ企業において、2014年度の活動実績および2015年度の目標を開示し、CSR経営の推進状況をご報告しています。

### ■ 想定している読者対象

お客さま、株主・投資家、取引先、従業員、地域社会、NPO・NGO、行政など幅広いステークホルダー(利害関係者)を対象としています。

### ■ 報告対象期間

2014年度(2014年4月1日～2015年3月31日)を基本として、必要に応じて2014年度以前・2015年度以降の活動内容も掲載しています。

### ■ 報告対象

グループ企業24社

### ■ 発行日

2015年9月(次回発行予定:2016年9月)

### 本レポートについてのお問い合わせ先

大和ハウス工業株式会社

●CSR部 TEL 06-6342-1435 ●環境部 TEL 06-6342-1346

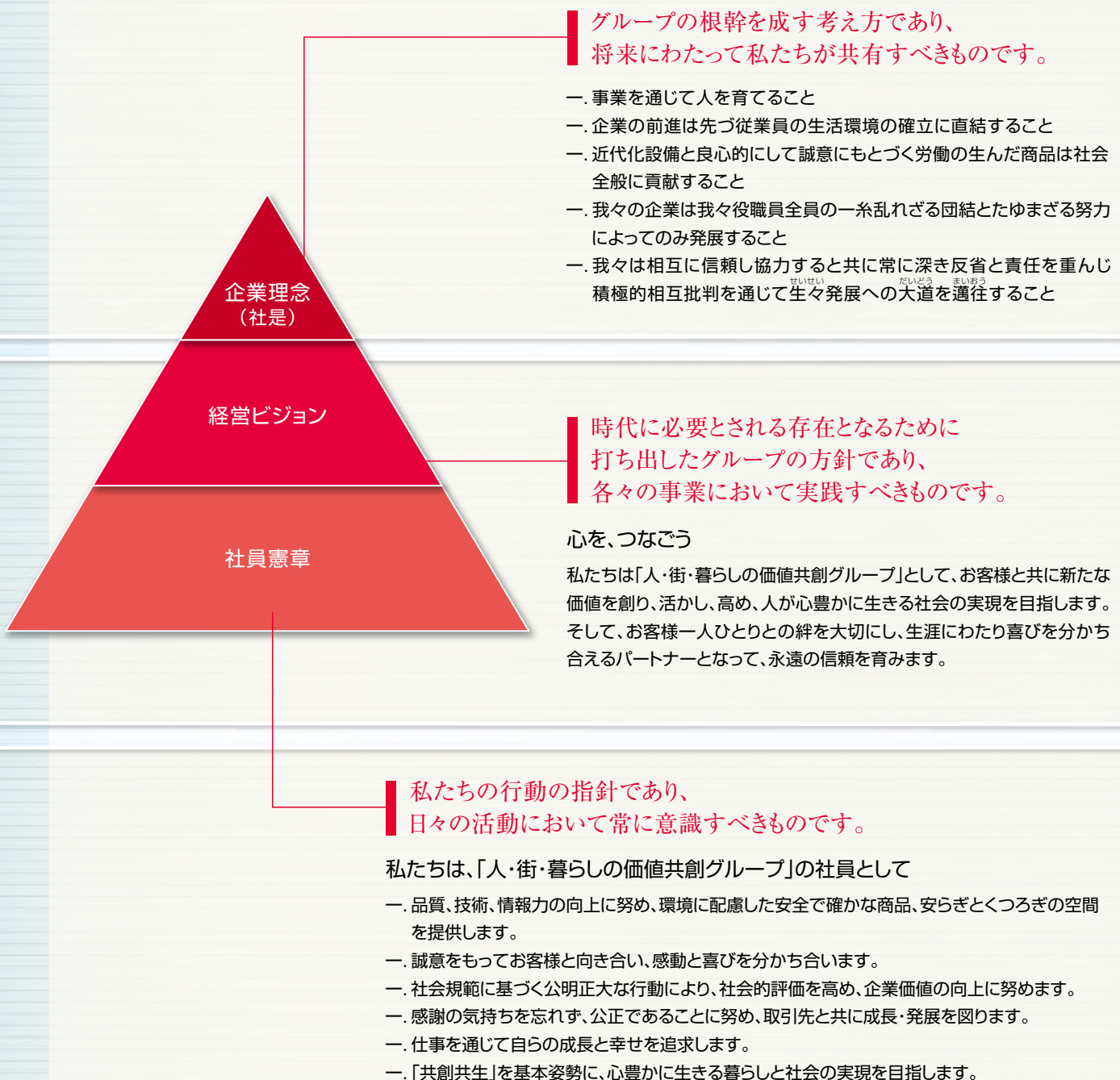


# 大和ハウスグループのCSRビジョン



**Daiwa House**<sup>®</sup>  
Group

グループシンボル「エンドレスハート」は、  
絶えることのないグループの行動と無限に続く成長・発展性を表し、  
将来にわたる“サステナビリティ”の実現を目指す  
私たちの理念体系を体現しています。





# 共に創る。共に生きる。

私たち大和ハウスグループは、事業を通じて社会と共にあること、そして商品やサービスを通じ、暮らす人と共にあること。この「共創共生」の姿勢を持ち続け、誠実に社会と向き合うことが大切であると考えています。

## 大和ハウスグループ CSR指針

社会性・環境性・経済性の3つの側面から、バランスのとれた事業活動を意識するとともに、ステークホルダー（利害関係者）と誠実に向き合い、企業市民として社会の要請に応え続ける。

### 01 事業を通じた 社会貢献

独自技術・ノウハウにより事業を通じて社会に貢献する。

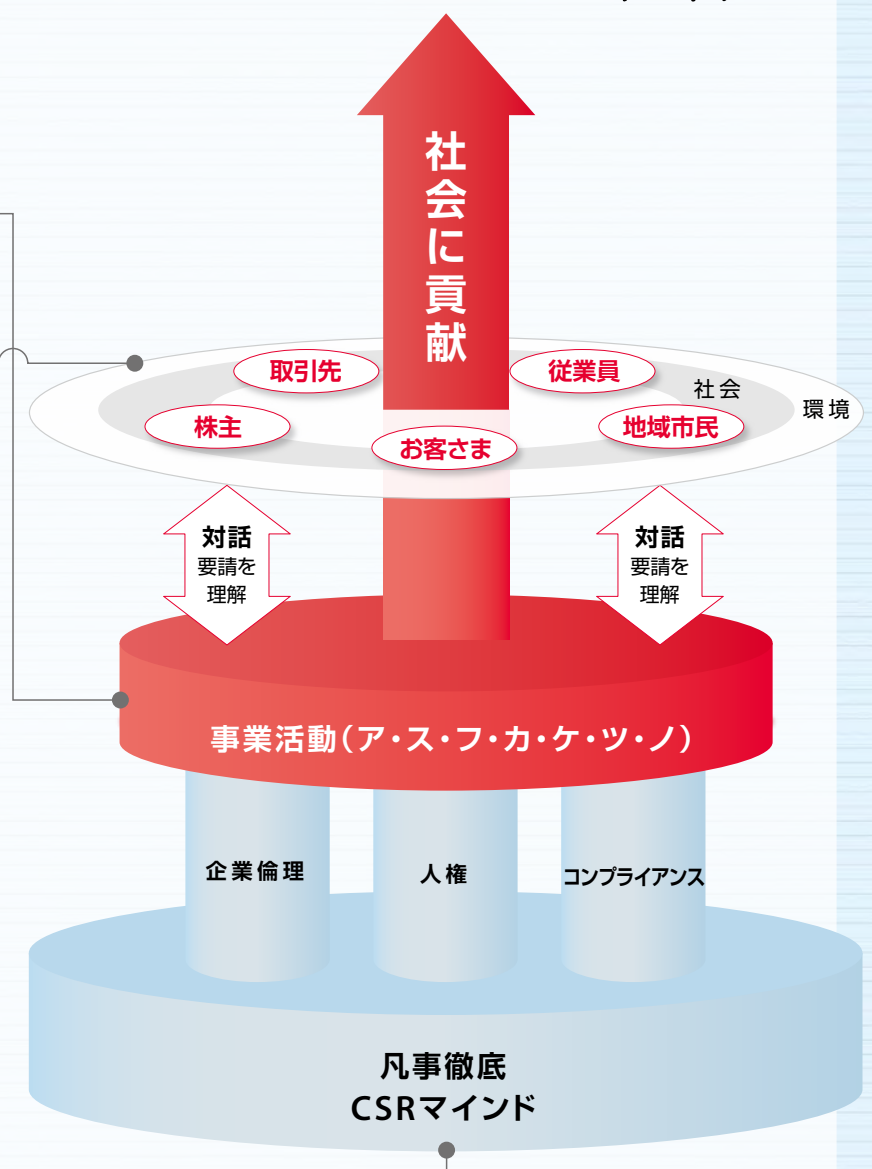
### 02 ステークホルダーとの 共創共生

ステークホルダー（利害関係者）との関わりや対話を通じて当社に対する要請を理解し、企業市民としてそれに応えるように努める。

### 03 グループ社員 一人ひとりの行動規範

企業倫理・人権・コンプライアンスの確立に努める。

## サステナビリティ経営



# 60周年を機に、今一度立ち返りたい 社会への貢献を第一義に、失敗を恐

～創業のDNAを軸として社会から選ばれ続けるグループへ～

## 大和ハウスグループのCSRとは DNAの継承と変化への対応

大和ハウス工業の創業者・石橋信夫は、何をすれば「儲かるか」ではなく「世の中の多くの人の役に立ち、喜んでもらえるか」を指針に、事業を拓け育てました。CSR精神こそ企業の永続性の源であるという揺るがぬ信念を、DNAとして遺したのです。これを継承し、つないでいくことはサステナブルな企業であり続けるための最大の要点です。今年迎えた創業60周年の節目においても、原点に立ち返ることを忘れてはなりません。

「総合生活産業」を掲げる当社グループがサステナビリティを維持・強化し続けていくためのキーワードが、「ア(安全/安心)・ス(スピード/ストック)・フ(福祉)・カ(環境)・ケ(健康)・ツ(通信)・ノ(農業)」事業です。例えば環境分野については、グループ一丸で「エネルギー“ゼロ”の住宅・建築・街づくり」を推進、太陽光、風力に続き水力発電事業への参入にも一歩を踏み出しました。創業者が1990年代から「21世紀の事業は、風と太陽と水がキーワードになる」と予見していたことが、今まさに現実となりつつあります。また、福祉・健康分野に関わる介護・医療関連事業では、介護の人手不足など深刻な現場の課題を直視し、業界や政府とも課題認識の共有を図りつつ、可能な限りの貢献を模索し続けています。また、「CSRの考え方が一致し、協力し合って社会に貢献できる」会社をパートナーに迎えることで、社会的課題の解決と事業拡大につなげることに注力しています。

今後も事業を通じた社会貢献をさらに拡大するべく、あらゆる努力を続けていきます。

代表取締役会長

樋口武男



# 創業の精神。 れず新たな挑戦を。

## 人財を育てるのは現場。「凡事徹底」を ベースに、「夢」を追求できる人財に

創業者は、創業商品「パイプハウス」の営業に自ら当時の国鉄の全保線区を回るなど、現場主義を貫いた人でした。企業とは現場を動かす人財あってこそその存在であることを熟知し、人財の育成に情熱を注ぎました。それも、言葉で説くのではなく現場を経験させ、困難な挑戦を通じて学ばせるという独自の育成法に徹していました。変化への対応力も、常に流動する現場と向き合って初めて養われます。こうした現場主義は、当社の人財育成に脈々と息づいています。

例えば、次代のリーダーを育てる「大和ハウス塾」は8年目を迎え、すでに83名の役員を輩出。グループ間の連携強化にも寄与しています。また、ダイバーシティの推進も成果を重ね、多様な人財が着実に育っています。どんな人財育成においても現場主義は健在です。本人のやる気と能力次第で大きな権限を与え、現場を任せることで個々の成長を図っていきます。

従業員全員に望むのは、現場を見て課題を発見し、その解決に向けて「夢」や「志」を持つことです。夢を実現しようという強い意志を持って挑戦を始めれば、当たり前前を当たり前前に実践する「凡事徹底」が、ベースとしていかに大切かを自ら感じ取るはず。 「凡事徹底」をベースに「夢」「志」を追い続けることができる人財へと自らを成長させ、さらに、後進も導く。全員がこれを実践できれば、自ずと企業としての品格、すなわち「社格」が醸し出され、不動産の信用とブランド力へとつながっていきます。

## サステナブル(持続可能)な企業を 目指し、謙虚に真摯に課題に立ち向かう

創業者は、「100周年(2055年)に売上高10兆円達成」という高い目標を、われわれに遺しました。この目標には、それだけ大きく社会に必要とされる企業となり、100周年を通過点に永続的に世の中の中の人の役に立ち続けていくのだという強い意志がこめられています。

世界の人口は、2060年に95億人に達すると予想されています。人口の増加に伴い、食糧難、環境汚染、治安の悪化などが進めば、人類は深刻な危機に直面することでしょう。子や孫の未来を考えれば、人として企業としての正道を踏み外すことなく社会の課題解決に役立つ事業を推進していくことは、この上なく重要です。

当社グループはこれまで、土地活用の転換期に対応して賃貸住宅事業、車社会の到来に対応して流通店舗事業、社会の高齢化に対応して介護事業と、常に時代の要請に応える事業を展開してきました。今後はさらに、役に立ち喜んでいただける完成された商品群も提供できるようになりたいと考え、医療・介護現場のマンパワー不足を見据えたロボット事業の推進や、スマートハウスの進化に欠かせない蓄電システムを手掛けるベンチャーの育成などに努めています。また、創業者の故郷であり、日本の宝ともいえる吉野山のシロヤマザクラを衰退の危機から救う活動など、事業以外にも当社の強みやオリジナリティを活かした社会貢献活動に力を注いでいます。

創業者は、売上高1兆円の達成に際し「社会の公器」としての責任に言及しました。3兆円を目前にし、10兆円という目標も掲げるわれわれは、ますますその責任を自覚し、謙虚に真摯に社会的課題への挑戦を続けてまいります。



## トップコミットメント

### 風と太陽と水を活かして 思いをかたちに Endless Heart



大和エネルギー株式会社  
代表取締役社長  
松嶋 秀和

地球規模での環境保全活動は、従来にも増してハイスピードで再生可能エネルギーの活用と総合的なエネルギーマネジメントについての取り組みがなされています。大和ハウスグループ全体においても、「人・街・暮らしの価値共創グループ」という方針のもと、環境に配慮した事業活動を行っています。このなかで当社の事業を行っていくうえでの社会的責任は、エネルギー(Energy)・環境保全(Environment)・経済性(Economy)の三つのEをいかにして地域社会にご提案し、お役に立てるかということです。それらを実現していくために、風・太陽・水という自然エネルギーを活用した、創エネルギー事業の拡大と省エネルギーへのエコプロデュースに取り組んでいきます。

#### 会社概要(2015年6月1日現在)

本社所在地：〒545-6033  
大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43  
あべのハルカス33F

設立年月日：1999年3月1日

事業内容：省エネルギーソリューション事業、発電事業、  
設備商品事業

従業員数：75名(2015年6月1日現在)

売上高：15,881百万円(2015年3月期)

## 活動トピックス

### 環境との共創共生

#### 再生可能エネルギーによる発電事業の拡大

当社は2007年より愛媛県佐田岬で風力発電事業を開始、そして2012年度からは太陽光発電事業を開始し、風・太陽の再生可能エネルギーを活用した低炭素社会の実現に向けて、積極的な事業展開を行っています。

2015年6月末現在、全国で34力所の太陽光発電所が稼働しており、風力発電と併せて、発電容量は71MWです。

今後2018年度末までに全国で54力所、120MWとなる計画で、すべての発電所が稼働した場合の総発電量は、175,000MWh/年となる見込みです。これは住宅36,988世帯分の年間消費電力量に該当します。

※経済産業省資源エネルギー庁「省エネ性能カタログ」掲載の数値(家庭の一世帯あたりの全消費電力量を4,734kWh/年とした場合)から算出。



DREAM Solar なつみ台Ⅱ(6MW)

### お客さまとの共創共生

#### お客さまのニーズを引き出す省エネ総合診断

当社は、工場・事務所・医療関連施設・ホテルなどさまざまな施設で、省エネルギー・省コストに向けたご提案を行っています。

“お客さまのニーズをいかに引き出すか”を追求し、その一つとして「省エネ総合診断」の実施を推進しています。

当社独自のマニュアルにもとづき、建物全体のエネルギー使用状況を現地調査とヒアリング、データ分析によって多岐項目にわたり診断し、現状を詳細に把握します。そして、単に設備更新をご提案するのではなく、既存設備の有効利用や運用面での改善などさまざまな観点から、これまで気付かなかった改善点を見出します。お客さまにとってご満足いただける、最適なご提案に努めるとともに、環境負荷低減に取り組んでいます。

## 取引先との共創共生

## 労働災害の防止を目指して

当社では、安全と品質の向上に向けた取り組みとして、継続的取引のある会社を会員として協力会を新たに発足し、現在、顧問としてサポートをしています。

協力会活動として、安全パトロール・安全大会・安全教育研修などを実施、危険予知活動・5S運動（整理・整頓・清掃・清潔・躰）を行うことにより、安全な環境と作業が手を結び、質の高い商品を提供することが可能になります。

また、日頃より、作業現場における安全水準の向上を目的として、当社社員に繰り返し労働安全衛生関係法令の教育を行っていますが、協力会社の従業員である現場作業員一人ひとりにも、当社社員による日常的な安全衛生教育を通じて、安全活動を行う本当の意味の理解を促しています。

このように、協力会としての目的である、共存共栄に向けた取り組みを積極的に行っています。

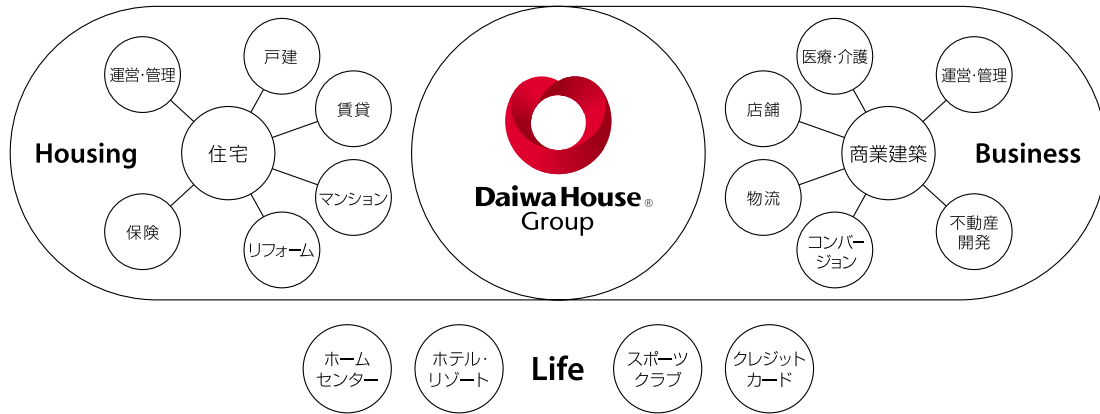
## 主なCSR自己評価指標

各指標の実績・目標欄における上段数値は実数を記載、下段の（ ）内点数はその実数を各社の評価方法に従い点数化したものです。

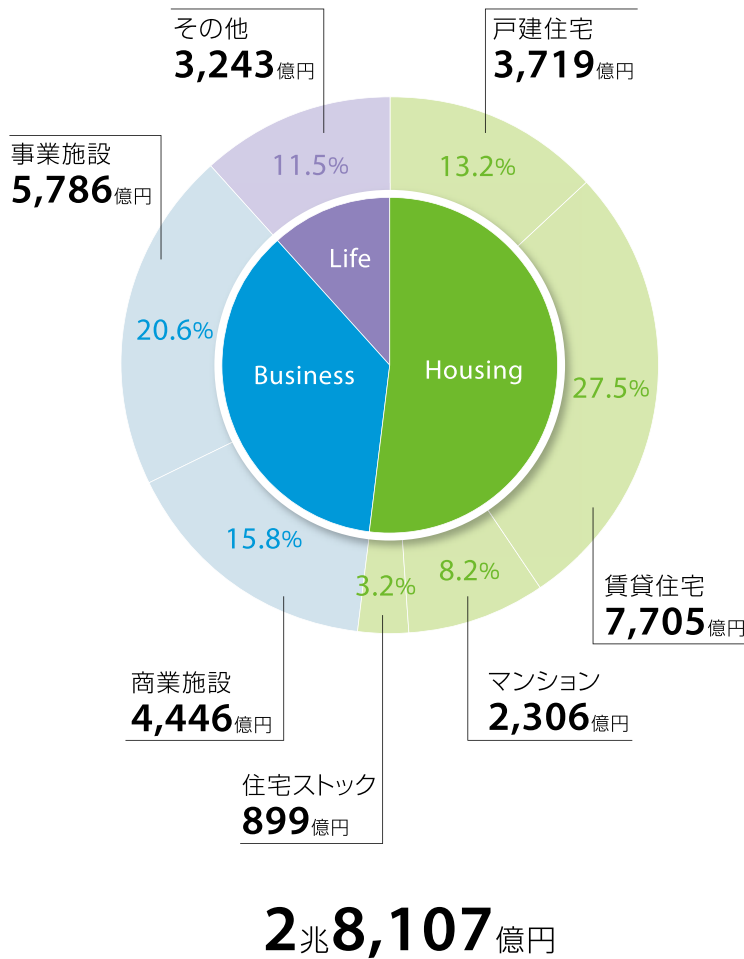
分野	社会的課題	具体的指標	各指標の配点(満点)	評価方法 (2014年度実績が該当する箇所を赤字で示しています)	2014年度実績	2015年度目標	補足 (関連資料など)
全分野	CSRの基盤づくり	社内CSR意識調査	100点	毎年行う社内CSR意識調査の得点(100点満点)	74.83点 (75点)	80点 (80点)	社内CSR意識調査全従業員を対象とした社内アンケート調査。結果を独自に点数化し、設問項目ごとに分析
取引先	公正な取引の実施	お取引先通報窓口(パートナーズ・ホットライン)への通報対応(解決率)	60点	50%未満 0、50%~60%未満 10、60%~65%未満 20、65%~70%未満 30、70%~75%未満 40、75%~80%未満 50、80%以上 60とする(0件は60)	0件 (60点)	0件 (60点)	
従業員	人財の育成	従業員人権研修受講者率	60点	従業員人権研修受講率 この比率を60点満点に換算 (①夏季研修 30点 ②年末研修 30点とし、①と②の合計にて算出)	①23.3点 ②29.7点 (53点)	①30点 ②30点 (60点)	
		有資格者数 (1級管工事施工管理技士、1級電気工事施工管理技士)	100点	有資格者比率 ①1級管工事施工管理技士 10%未満 0、10%~12%未満 10、12%~14%未満 20、14%~16%未満 30、16%~18%未満 40、18%以上 50とする ②1級電気工事施工管理技士 10%未満 0、10%~12%未満 10、12%~14%未満 20、14%~16%未満 30、16%~18%未満 40、18%以上 50とする ①・②の合計にて算出	①16.7% ②26.3% (90点)	①24.0% ②31.0% (100点)	
	福利厚生制度の充実(従業員の持ち家取得推進)	30歳以上の従業員持ち家取得率	60点	住宅手当を支給されている者の割合 30%未満 0、30%~34%未満 10、34%~38%未満 20、38%~42%未満 30、42%~46%未満 40、46%~50%未満 50、50%以上 60とする	16.1% (0点)	30.0% (10点)	
	事業活動の客観的評価の確保	職場の「仕事に対するモチベーションの高さ」調査(社内CSR意識調査実施時に調査)	60点	55%未満 0、55%~60%未満 10、60%~65%未満 20、65%~70%未満 30、70%~75%未満 40、75%~80%未満 50、80%以上 60とする	87.0% (60点)	88.0% (60点)	意識調査設問変更に伴い、昨年まで本課題の指標であった「総合満足度調査」から、「仕事に対するモチベーションの高さ」に変更しました
社会	情報セキュリティ(個人情報の保護)	個人情報の盗難・紛失事故件数の前年度増減率	100点	5%未満の減少率 0、△5%~△10%未満 10、△10%~△15%未満 20、△15%~△20%未満 40、△20%~△25%未満 60、△25%以上の減少率 80とする(0件が満点)	0件 (100点)	0件 (100点)	

# 大和ハウスグループの概要

## 人・街・暮らしの価値共創グループ



### 売上高(連結) ※グループ内取引を除いた比率



### 本報告書対象企業一覧 (連結対象のうち24社)

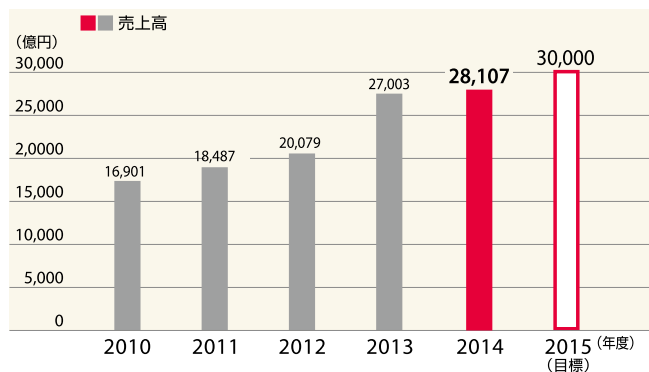
- 賃貸住宅
  - 大和リビングマネジメント(株)※
  - 大和リビング(株)※
  - 日本住宅流通(株)
- マンション
  - 大和ライフネクスト(株)
- 住宅ストック
  - 大和ハウスリフォーム(株)
  - 日本住宅流通(株)
- 商業施設
  - 大和ライフネクスト(株)
  - 大和情報サービス(株)
  - 大和リース(株)
  - ダイワロイヤル(株)
- 事業施設
  - 大和リース(株)
- その他
  - エネサーブ(株)
  - (株)大阪マルビル
  - (株)伸和エージェンシー
  - スポーツクラブ NAS(株)
  - 大和エネルギー(株)
  - 大和エステート(株)※
  - 大和コアファクトリー(株)
  - 大和ハウスインシュアランス(株)
  - 大和ハウスフィナンシャル(株)
  - 大和ハウスライフサポート(株)
  - 大和物流(株)
  - (株)デザインアーク
  - 大和ランテック(株)
  - 大和リゾート(株)
  - 大和リビングキューティリティーズ(株)※
  - 大和リース(株)
  - ダイワロイヤル(株)
  - ダイワロイヤルゴルフ(株)
  - 西脇ロイヤルホテル(株)
  - (株)メディアテック
  - ロイヤルホームセンター(株)
  - (株)Doble-D ※
  - D.U-NET(株) ※

※大和リビングカンパニーズとして報告を行っています。

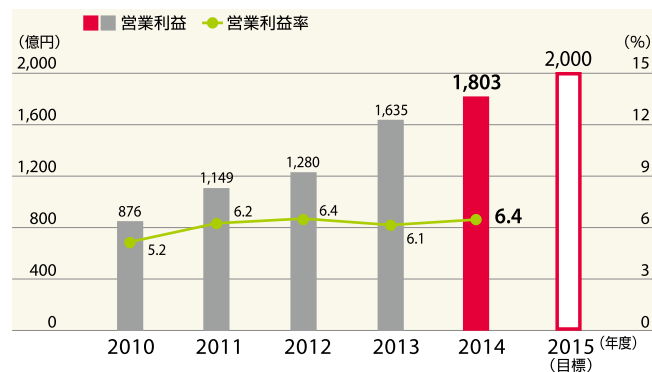


# 業績ハイライト／連結財務指標

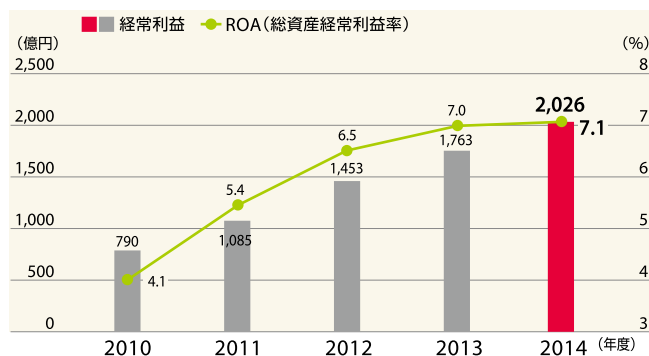
## 売上高



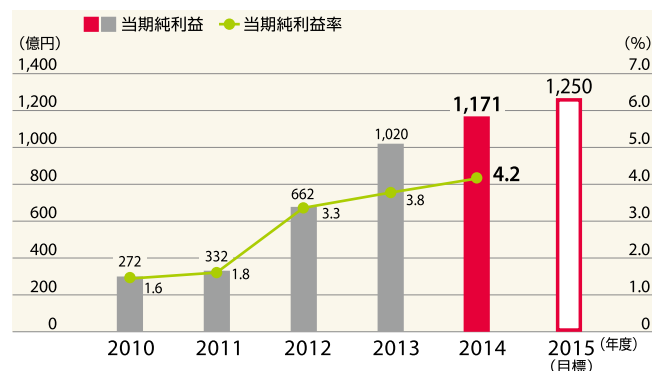
## 営業利益／営業利益率



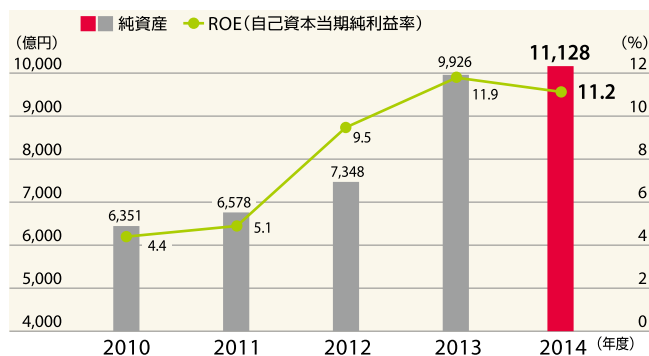
## 経常利益／ROA(総資産経常利益率)



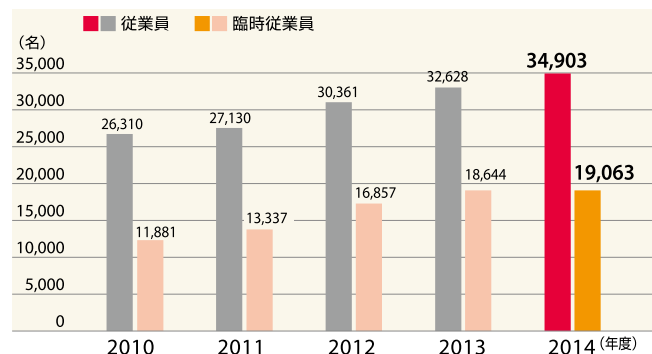
## 当期純利益／当期純利益率



## 純資産／ROE(自己資本当期純利益率)



## 従業員数





エネルギー“ゼロ”の住宅・建築・街づくりで、  
低炭素社会へ。  
大和ハウス工業は、Fun to Shareに賛同しています。